

ツンデレ属性と言語表現の関係 —ツンデレ表現ケーススタディ— *1

富樫純一 (大東文化大学) jtogashi@ic.daito.ac.jp

0. 問題の所在

「ツンデレ」と呼ばれる概念は、2002年後半にインターネット上のスラングとして登場し、おおむね2004~2005年を境として、一般層にも普及しつつある。昨今のサブカルチャー作品において、ツンデレキャラクターは必要不可欠な存在となっており、作品そのものに言及する場合においても、ツンデレの存在が意識されないことはないといえる。

(オタク系の間で) ツンデレキャラクターは、次のような特徴的な言葉づかいをするものという共通認識がある。

(1) し、心配なんてしてないんだからね! (釘宮(2007) 読み札「し」)

(2) そんなに言うなら…花火大会 い、い、一緒に行ってあげてもいいわよ? か、勘違いしないでよ! ひ、暇だっただけよ!? (釘宮(2008b) 読み札「そ」)



表現のつかえ、言いさしの「から」等が多く用いられている。博士語やお嬢様言葉といった、典型的な役割語ほどではないにしろ、こういった言葉づかいをさせることで、特定の偏った人物像が想起できる。これらの「ツンデレ表現」は、ツンデレキャラクターを特徴付けるために用いられているといえる。逆に、ツンデレ表現を目にすれば自ずとツンデレキャラクターが想起されるのである。

本発表は、特定の言語表現とツンデレ属性の親和性の高さに注目し、その関係を検討していくことを目的とする。

*1 本発表は、発表者のブログ「ネ言」(<http://d.hatena.ne.jp/negen>)において、「ツンデレ言語論」というタイトルでエントリーした一連の論考、および富樫(2008)を土台にしたものである。

1. 概念の規定

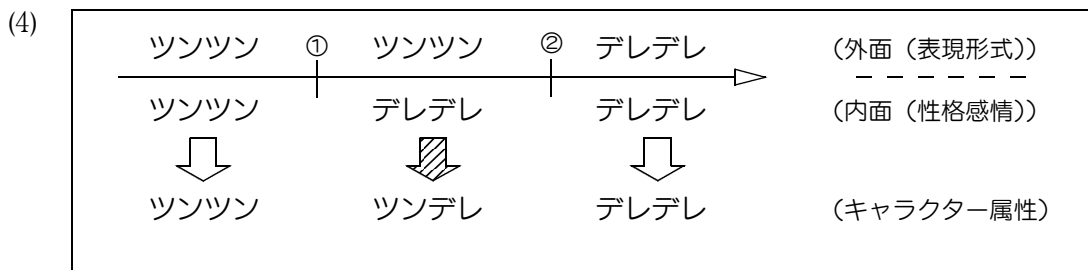
1.1. ツンデレ属性

言語表現の分析に先立って、ツンデレに関する概念規定をある程度しておく。

- (3) 「「普段はツンツン、二人っきりの時は急にしおらしくなってデレデレといちゃつく」（…中略…）当初は見ての通り「二人っきりの時は～」というかなり厳密な条件がついていたのだが、ツンツンとデレデレの落差が魅力になっているキャラ全般をくくる概念としてあまりにも便利なことばだったため、（…中略…）現在では「外面ツン内面デレ」の状態ギャップ表現と、「ツンからデレ」への時間推移の表現をひっくるめた用語として使われている」（『ツンデレ大全』、p.92「ツンデレ論」）

基本的には、「ツンツン」という要素と「デレデレ」という要素の、相反する二つの要素が混在しているのがツンデレと呼ばれる属性である*2。

(3)の記述でも分かるように、ギャップ（落差）の存在がツンデレの主たる要素として注目されるようになった。ツンデレ属性とは、特定の人物に対する特別な感情を素直に表現しないキャラクターとして位置付けることができる。(3)の、状態ギャップと時間推移をまとめた形で図に表すと以下のようなになるだろう*3。



言葉づかい（表現形式）はツンツンしているが、内に秘めた特別な感情を有しているのがツンデレ属性なのである。

*2 最初期のツンデレは、ゲームの登場人物の性格を表そうとして作り出された。「ツンツン」はゲームスタート時のキャラ性格（主人公／プレイヤーに対して何の感情も持っていない状態）であり、「デレデレ」はいわばゲームクリアの目標条件（主人公／プレイヤーに恋愛感情を抱いている状態）である。

*3 この概念図式はさまざまなキャラクターに応用可能である。「ツンツン」を「クール」に置き換えると「クーデレ」となり、鏡像的に入れ換えると「ヤンデレ」となる。

1.2. ツンデレ表現

そして、「感情が素直には表現されていない」状態を言語形式で明示的に表すのがツンデレ表現である。したがって、ツンデレを言語的に分析するには、如何にギャップが表現されているのかを見る必要がある。

ツンデレ表現には、性質の異なる二種類が認められる。次の二例を比較してみよう。

(5) これは、あんたのために着てきたわけじゃないんだからね!

(釘宮(2008a) 木佐貫桃花)

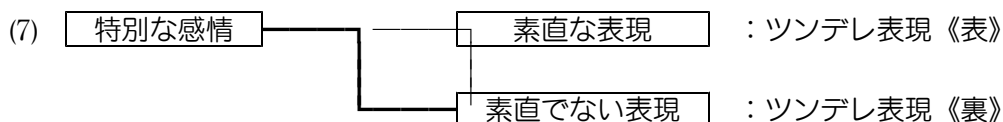
(6) お…お化けなんか 怖くないもん…怖くないもん…こっ、怖くなんかないけど…
そ、そばにいてもいいんだからね…

(釘宮(2008b) 読み札「お」)

(5)の言表内容の核は「着てきたわけではない」であり、ツンデレキャラクターが持つ特別な感情とは正反対の、《裏》に相当している。一方、(6)の核は「そばにいていい」であり、特別な感情そのものに起因している、《表》に相当している。

このように、ツンデレ表現には、(a)特別な感情の裏側を表した《裏》と、(b)特別な感情をそのまま表した《表》、の二種類がある。特に《表》の場合、特別な感情を隠し切れていないのであり、ギャップの存在というツンデレの中心概念と矛盾をきたす可能性がある。

《表》《裏》の区別が、ツンデレ属性の概念規定にどう組み込まれるかについては今後の課題であるが、ひとまず、両方ともツンデレ表現を捉えておき、以下のようにまとめる。



ツンデレキャラクターは、ある特定の他者に対し特別な感情（大抵の場合、恋愛感情）を有してはいるものの、それを素直に表現しない。特別な感情を素直に表現するという、感情表出の流れが回避され、結果として素直でない表現が現れる。これがツンデレ表現の典型である（上記の太線の流れ）。しかし、(6)のような、言表内容の核が素直な表現となっているものも見受けられる。単純に素直な表現となっているのではなく、「～でもいい」等が付加されて、ツンデレらしさを生み出している。一旦、素直な表現を経由して、素直でない表現に変化しているといえる（上記の細線の流れ）。

ツンデレ表現の二種類は、素直な表現をどう回避するかによって分けることができ、《表》か《裏》かでツンデレ表現形式の選択に偏りがみられると考えられる。

2. ツンデレ属性を想起させるもの

さまざまなツンデレキャラクターの言葉づかいを踏まえると、ツンデレ属性と結びつく言語表現には以下のようなものが挙げられる。

- (8) つっかえ
- (9) 接続助詞「から」による言いさし
- (10) 終助詞「ね」「よ」*4
- (11) 「～てあげる」「～でもいい」
- (12) とりたて詞「だけ」
- (13) 発話末の強調（書きことばでは、促音要素「っ」や記号「！」の付加）
- (14) 副詞類（「別に」「勘違いしないで」等）

次節では、この中から「つっかえ」「から」「～てあげる、～でもいい」を取り上げ、これらが何故ツンデレ表現たりうるのかを検討する。

3. ツンデレ表現分析 —ケーススタディー—

3.1. つっかえ

- (15) あ、あ、あんたの前でしか 着るつもりないんだからね！ は、恥ずかしいけど
ちゃ、ちゃんと見ときなさい… (釘宮(2008b) 読み札「あ」)
- (16) す、好きでこんな格好してるわけじゃないんだからね… あんたの前だけよ…
もう…バカ… (釘宮(2007) 読み札「す」)
- (17) 成瀬川「ち ちがうわよ ただそのっ…」
「れ 練習しただけよ チョコ作りの」

(赤松健『ラブひな』第7巻, 講談社, 2000年4月, p.114)



*4 終助詞に関してはツンデレ表現と認定できるかどうか微妙なところである。別稿にて議論する予定。

つかえがツンデレ属性を想起させる表現であることは疑いようがない。ツンデレのステータスとして確立されていると見ていいだろう。事実、釘宮(2007,2008a,2008b)^{*5}におけるツンデレキャラクターはつかえることが非常に多い。

そこで、釘宮(2007,2008a,2008b)における、つかえの使用数を調査した。

(18)	つかえ (とぎれ型 語頭戻り方式)
釘宮(2007)	10
釘宮(2008a)	150
釘宮(2008b)	37

約四割の発話につかえが現れており、その全てが「とぎれ型・語頭戻り方式」であった。つかえとツンデレ属性の親和性の高さが窺える。では、何故つかえが多用されるのか。まず、定延(2005)の記述を見てみよう。

- (19) 「とぎれ型・語頭戻り方式は、「自分がいま発言することばに集中していてつかえてしまい(とぎれ型)、そのことばを初めから言い直す(語頭戻り方式)」ことだと考えることができる」 (定延(2005), p.62)

つかえは、単なる心の動揺ではなく、背後に《集中》という心的操作が存在している。ツンデレ属性の場合、その《集中》は特別な感情を覆い隠そうとする操作に伴って発現するといえるだろう。

覆い隠す行為の根底には、素直になれない(素直になることが恥ずかしい)という、ツンデレ属性特有の性格があるのであるが、そこには、

- (20) 特別な感情の存在 → 素直に表現できない → 表現を取り繕う《集中》 → 《集中》の表示としてのつかえ

このようなプロセスが想定できる。ツンデレキャラクター自身が持つ自己矛盾の回避操作

*5 『ツンデレカルタ』は「あ」～「ん」までの45札から成っており、ほぼ一札一発話に相当する(総再生時間：約12分)。『ツンデレ百人一首』は、「上の句」「下の句」の対が100首あり、発話量は『カルタ』に比べるとかなり多い(総再生時間：約70分)。

の表示として、つかえがもっとも適切なのであろう。

(21) 「おっほっほっほっほ！ あなたみたいなダメ人間は将来どこにも就職できないだろうから私の執事としてやとってあげてもいいわよ！ あなたはきょうからセバスチャンよ！ セバスチャンと呼ぶわよ！ おっほっほっほっほ！」

「セバスチャン！ 私のかばんをもちなさい。セバスチャン！ 私の肩をもみなさい。……セ、セバスチャンさえよければ、わ、私のとこへ永久就職でもいいのよ…」

（釘宮(2008a) 大豪寺姫子）



また、(21)の例から分かるように、つかえが現れるポイントがツンツンとツンデレの境界線となっている。(21)はツンデレ表現《表》であるが、素直な表現をそのまま表現しようとする意図が見て取れる。素直な表現の回避操作の開始点で、つかえが行われていると考えられる。開始点は、ツンデレ属性への移行ポイントとして捉えられる。単なる動揺の表示とは性質を異にしていることが分かる。

このことは、例えば、

(22) 「あ、あなたは、わ、私にほ、包囲されているんです…だ、だから、お、おとなしく、つ、つかまりなさい…もう、に、逃げられませんか」

「つ、つ、つつかまえた…あ、あなたには、も、黙秘権がありますけど次の質問だけは黙秘権がありません…わ、私のこと、どどど、どう思っていますか…」

（釘宮(2008a) 大川内菜々華）

(22)のようにつかえを多用しすぎると、却ってツンデレ属性の想起が制限され、単なる動揺の表示という意味合いのほうが強くなってしまふことから明らかである。

◇つかえの問題

- ・とぎれ部分が複数回のもとの、とぎれ一回では何か違いがあるのだろうか。

3.2. 「のだから」による言いさし

- (23) 電話なんかしてこなくても…寂しくなんてないんだから… (釘宮(2007) 読み札「て」)
- (24) さよならなんて言ってあげないんだから! (釘宮(2007) 読み札「さ」)
- (25) 「あ、明後日は…私と日直だから、一緒に登校なんだよ…あなた、ぜったい遅刻するんだから…ダメなんだから…よ、夜更かしとか禁止なんだから…」
 「明後日、家まで起こしにいったらいいよ…。遅刻常習犯のあなたがおくると、あたしがこまるからだよ…。それだけなんだから…私に任せておけばいいんだから…」 (釘宮(2008a) 九十九二葉)



接続助詞「から」を用いた言いさしもまた、ツンデレ属性を想起させる代表的な表現である。釘宮(2007,2008a,2008b)で用いられた、言いさしの「から」は次の結果となった*6。

(26)	言いさし「から」	言いさし「のだから」
釘宮(2007)	4	11
釘宮(2008a)	25	54
釘宮(2008b)	2	19

特筆すべきは、「のだから」(「のだ」+「から」)の割合の高さである。(23)~(25)でも「のだから」による言いさしが用いられている。

野田(1995)で、「のだから」は「聞き手が知っているはずの事態を十分に認識させる」という意味を有していると指摘している。

- (27) 「「のだから」の文の話し手は、相手(ときには話し手自身)が前件の事態を知ってはいるはずだが後件の判断に至るほど十分には認識していないとみなし、十分認識させるために前件の事態を改めて示している」 (pp.242-243)

*6 ツンデレ属性の想起と無関係であると判別した言いさしはカウントしていない。

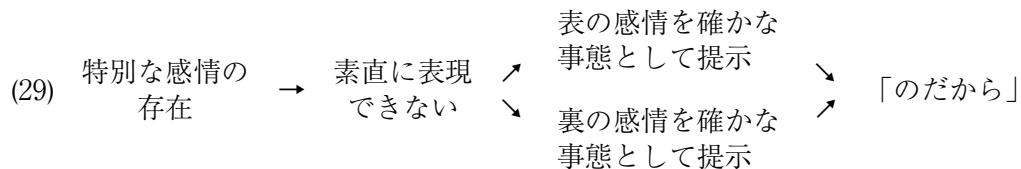
また、日本記述文法研究会(2008)では、

- (28) 「「のだから」(…中略…)は、従属節の事態を確かな事実として示し、そこから必然的に導き出されるものとして主節の事態を示すという特徴を持つ」(pp.130-131)

と説明しており、「聞き手が十分には認識していないと話し手が見なしている事態を従属節に示」すとしている (p.132)。結果、「のだから」文には、「非難のニュアンス」「話し手の不満」が表出されるとしている。

そもそも、ツンデレ表現の場合は言いさしなので、後件との関係は考慮する必要がない。したがって、前件の事態についてのみ考えると、そこには「確かな事態」として聞き手に認識させるという意味があるといえる。

では、何が確かな事態となるのか。「のだから」はツンデレ表現《表》にも《裏》にも用いられる。《表》の場合には特別な感情を素直に提示し、《裏》の場合には素直でないことを押しつけて内面の感情を隠そうとする意図が読み取れる。内容の核がツンデレキャラクターにとって事実であろうが嘘であろうが、相手に確かな事実として押しつけることで、自身の特別な感情の直接的表現を回避する。そして、さらには、“背後の特別な感情についてはとやかく言うな”、といった踏み込まれることを拒否する態度をも表出することになる。



特に、素直な表現となっている《表》の場合には、この押しつけの解釈が唯一のツンデレ表現としての拠り所となる。

◇「のだから」の問題

- ・「のだ」の無い「から」をどう捉えるか。西田(2009)の説明との関係。

3.3. 「～てあげる」「～てもいい」

- (30) ついでだからあんたも誘ってあげるわ (釘宮(2007) 読み札「つ」)
- (31) 「今日おじさんとおばさん旅行に行ってるんでしょ？ あんた一人じゃ寂しいだろうから、今温めなおしてあげるわよ。夕飯一緒に食べてあげてもいいけど……」
(釘宮(2008a) 春日野光)
- (32) 翠星石「知らんですっ この前なんか 翠星石が特別に 抱っこさせてやるって 言っても 見向きもしないですよ？」
(PEACH-PIT『Rozen Maiden』第7巻, 幻冬舎, 2006年9月, p.152)



釘宮(2007,2008a,2008b)における「～てあげる」「～てもいい」の用例数は以下のようになった(「てやる」および否定接続の「なくてもいい」も含めている)。

(33)	てあげる	てもいい	てあげてもいい
釘宮(2007)	4	1	(1)
釘宮(2008a)	47	27	(17)
釘宮(2008b)	13	7	(5)

授受表現「～てあげる」や、許容表現「～てもいい」もまた、ツンデレ表現と捉えられるだろう。また、二つを組み合わせた「～てあげてもいい」もかなり強力にツンデレ属性を想起させ、実際の使用数も多い。

「～てあげる」は恩恵を与える側の立場が話し手となる。「～てもいい」も行動を許容する側が話し手になる。これらの表現には、ツンデレキャラクターの弱点の存在を隠蔽しようという意図が含意されていると考えられる。

(34) 特別な感情の存在 → 相手に指摘されたら困る弱点 → 指摘させないために自分が心理的に上に立つ → 「～てあげる」／「～でもいい」による表示

隠そうとする感情が垣間見えたことを相手に指摘されると、照れの感情ひいては相手に弱みを握られることにつながる（客観的には、弱みではなく、両想いというプラスの結末に向かうのであるが、本人はそう思っていない。先に素直になったほうが負けなのである）。そこで、「～てあげる」「～でもいい」のような優位性を確保する表現を用いて、指摘を回避するように仕向けるのである。

「～てあげる」「～でもいい」によって、話し手の心理的優位性が確保され、それが特別な感情へのこれ以上の踏み込みを拒否する態度を表出させる。

優位性の確保を示す類似のツンデレ表現には、「たまたま」「偶然」「特別に」「勘違いしないで」等の副詞類や、人称表現「あなた」等が挙げられるだろう。

なお、「～てあげる」「～でもいい」はツンデレ表現《表》に限られることも付け加えておく。素直でない表現ならば、わざわざ優位性を確保する必要がないからである。優位性は素直な表現にかぶせられるものなのである。

一方、前節でのつかえや「のだから」は《表》《裏》いずれにも用いることができるツンデレ表現である。使用範囲から考えると、よりツンデレらしい表現と呼ぶべきなのは、つかえおよび「のだから」といえるのではないか。

◇「～てあげる」「～でもいい」の問題

- ・ いわゆるツンツン属性においても、「～てあげる」「～でもいい」が用いられるが、それはどう説明するか。

4. ツンデレ表現と役割語

ツンデレという属性を捉えようとするとき、役割語との接点が重要になってくる。ツンデレ表現は果たして役割語と呼べるのだろうか。

いくつかの特定の表現が特定の人物像を想起させるという点では、役割語として扱っていいと思われるが、次の二点が大きな問題となる。

- (35)a 常用性
- b 属性の把握が主観的

「常用性」については、西田(2008)等で議論されているので割愛する。もう一つの「主観的」という側面に目を向けてみたい。

西田(2008)も指摘するとおり、ツンデレは「素直になれない」という性格を言い表した概念である。こういった性格の把握は主観的にしか行われず、人によって性格の解釈が異なってくる。あるキャラクターがツンデレであるかどうかの判断が分かれるのはまさにこの理由による。素直でないと判断する基準に統一性が無いのである。

さらに、1節で規定した「特別な感情」も非常に曖昧である。一般的には恋愛感情を指すのであるが、これも捉え方がさまざまであり、友情や親子愛を含む解釈も可能である。そうすると、海原雄山(『美味しんぼ』(雁屋哲原作・花咲アキラ作画, 小学館))や碓ゲンドウ(『新世紀エヴァンゲリオン』(貞本義行, 講談社))のようなキャラクターまでツンデレとして認定されてしまう結果となる。

つまり、性格感情という内面のものであることが、キャラクターの役割を決める上での障壁となっているのではないか。「主観的」にしか決定しえない点が典型的役割語とは認めにくい理由の一つである。

ツンデレは「素直になれない」という側面を持っているが、だからといって「素直になれない」キャラクターが全てツンデレとは言えないはずである。

しかしながら、つかえや「のだから」は使用範囲も広く、比較的ツンデレ属性を想起させやすい表現である。性格属性の描写の内でも、典型的役割語に近いものとそうでないものがあるといえるのではないだろうか。

5. 今後の課題

- (a) 曖昧な概念をどこまで精緻化できるか
→特にツンデレ《表》をツンデレと認めるかどうかについては要検討。
- (b) 表現の分析
→ツンデレ表現の種類を豊富にしてどこまで意味があるか。また、ツンデレ属性を想起する形式と、ツンデレキャラクターの持つ別属性を想起する形式とを厳密に分けるべき。
- (c) 資料の収集と整理
→まとまった形で利用できるのは今のところ釘宮(2007,2008a,2008b)のみ。

参考文献

- 上野智子・定延利之・佐藤和之・野田春美(編)(2005) 『ケーススタディ日本語のバラエティ』 おうふう。
可愛零(編)(2005) 『ツンデレ大全 完全保存版 僕たちの大好きなツンデレキャラが大集合!!』 インフォレスト株式会社。
- 金水 敏(2000) 「役割語探求の提案」, 佐藤喜代治(編)『国語論究第8集 国語史の新視点』, 明治書院。
金水 敏(2003) 『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』 岩波書店。
金水 敏(編)(2007) 『役割語研究の地平』 くろしお出版。
金水 敏(2008) 「役割語と日本語史」, 金水・乾・渋谷『シリーズ日本語史4 日本語史のインタフェース』, 岩波書店。
- 釘宮理恵(2007) 「ツンデレカルタ」 株式会社 DEARS。
釘宮理恵(2008a) 「ツンデレ百人一首」 株式会社 DEARS。
釘宮理恵(2008b) 「ツンデレカルタ2008 日本の夏!ツンデレの夏!」 株式会社 DEARS。
定延利之(2005) 『ささやく恋人、りきむりポーター』 岩波書店。
定延利之・中川明子(2006) 「非流ちょう性への言語学的アプローチ —発音の延伸、とぎれを中心に—」, 串田・定延・伝(編)『シリーズ文と発話1 活動としての文と発話』, ひつじ書房。
定延利之(2007) 「キャラ助詞が現れる環境」, 金水敏(編)『役割語研究の地平』, くろしお出版。
定延利之・張麗娜(2007) 「日本語・中国語におけるキャラ語尾の観察」, 彭飛(編)『日中対照言語学研究論文集』, 和泉書院。
- 白川博之(1991) 「「カラ」で言いさす文」『広島大学教育学部紀要第二部』 39, 広島大学。
富樫純一(2008) 「ツンデレ属性と言語表現 —役割語的アプローチとケーススタディー」, 第6回現代日本語文法研究会(2008/10/25,26)発表レジュメ。
西田隆政(2008) 「役割語としてのツンデレ表現 —「役割表現」研究の可能性—」, 土曜ことばの会(2008/10/11)発表レジュメ。
西田隆政(2009) 「ツンデレ表現の待遇性 —接続助詞カラによる「言いさし」の表現を中心に—」, 『甲南女子大学研究紀要 文学・文化編』 45, 甲南女子大学。
- 日本語記述文法研究会(編)(2008) 『現代日本語文法6 第11部 複文』 くろしお出版。
野田春美(1995) 「「のだから」の特異性」, 仁田義雄(編)『複文の研究(上)』, くろしお出版。

参考webサイト

ツンデレとは - はてなキーワード

<http://d.hatena.ne.jp/keyword/%A5%C4%A5%F3%A5%C7%A5%EC>

ツンデレ - Wikipedia

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%84%E3%83%B3%E3%83%87%E3%83%AC>

ツンデレ初心者の方へ

<http://www013.upp.so-net.ne.jp/gon/tundere/introduction.html>

もみあげチャ〜シュ〜語尾を「〜だからね!」をつけるとツンデレっぽく聞こえる件

<http://blog.livedoor.jp/michaelsan/archives/50262658.html>

Appendix：ツンデレという言葉の起源

「ツンデレ」という言葉は、「あやしいわーど@暫定」というインターネット掲示板において誕生したとされている。「あやしいわーど@暫定」そのものは既に閉鎖されているが、過去ログを検索できるサイト「あやしいわーど@検索 (<http://strangedb.ath.cx/>)」が存在するので、そこで正確な日付を調査してみた。

◆「ツンツンデレデレ」としての初出 2002年8月29日

投稿者： 投稿日：2002/08/29(木)00時28分42秒
> 貴殿ら大空寺大空寺と言ってるがあんな性格が悪くて馬鹿そうな奴の何処が良いんだ？
ツツデレデレが良いとか聞くな
漏れはまゆのほうがいいけど

あやしいわーど@暫定 (<http://www.ge.st98.arena.ne.jp/> 現在は閉鎖) より

※参考：『君が望む永遠』(<http://www.kiminozo.com/index.html>) より

大空寺あゆ
孝之がバイトするファミレス「すかいてんぶる」の同僚。
邪悪な性格と殺人的な口の悪さを誇る「すかいてんぶる」の核弾頭。その口の悪さでいつも孝之にもやたらと突っかかる。さらには、その口の悪さはあるところか、日々お客にむけられる事もしばしば。

http://www.kiminozo.com/about/subwin_ayu.html

◆「ツンツンデレデレ」としての二度目・三度目・四度目 2002年9月11日・10月24日・11月2日

投稿者： 投稿日：2002/09/11(水)00時16分45秒
そーいや水月のアリスはツツデレ系だったよ、(´ー`)ノデレモードに入ると即インテイクだ
でもいい感じだった

投稿者： 投稿日：2002/10/24(木)01時44分00秒
^ ^
■●■
(´ー`)<七瀬留美はツツンデレデレキャラのホームラン王です
(| o |)
U | o | U
U U

投稿者： 投稿日：2002/11/02(土)15時05分47秒
Airの最大の失敗はツツンデレデレキャラが居ないことだ

あやしいわーど@暫定 (<http://www.ge.st98.arena.ne.jp/> 現在は閉鎖) より

◆「ツンデレ」としての初出 2002年11月15日

投稿者： 投稿日：2002/11/15(金)00時26分48秒
ツンツンデレデレの人まだいる？

投稿者： 投稿日：2002/11/15(金)00時27分38秒
> ツンツンデレデレの人まだいる？
いるよ。(´ー`)

投稿者： 投稿日：2002/11/15(金)00時29分03秒
>> ツンツンデレデレの人まだいる？
> いるよ。(´ー`)
ツンツンデレデレ系オタとして当然初夜献上はやったんだろうな？

投稿者： 投稿日：2002/11/15(金)00時29分27秒
>> いるよ。(´ー`)
> ツンツンデレデレ系オタとして当然初夜献上はやったんだろうな？
ヲヲ!!

投稿者： 投稿日：2002/11/15(金)00時32分03秒
>> ツンツンデレデレ系オタとして当然初夜献上はやったんだろうな？
> ヲヲ!!
いや、IDがなんだけどね(´ー`;))
これのIDのひめってのがなかなかいいツンデレ系キャラなんですわ
やってないなら一度プレイすることをオススメするよ
<http://giantpanda.product.co.jp/syoya/sinsaku/chara.html>

あやしいわーど@暫定 (<http://www.ge.st98.arena.ne.jp/> 現在は閉鎖) より

◆2ちゃんねるにおける「ツンデレ」初出 (と思われるもの) 2002年12月26日

1 名前： ◆/A3vD2iKD2 [] : 02/12/26 12:29 ID:soBWuxx7
「ツンツン・デレデレ系」という言葉がある。
あやしいわーど暫定という他所のコミュニティの造語らしいが、
「普段はツンツン、二人っきりの時は急にしおらしくなってデレデレといちゃつく」
ようなタイプのキャラを指す。
俺が思うに、例えるなら梓、佐久間晴姫、七瀬留美、ガンパレの芝村みたいな感じ。
お嬢様系の始終タカビー女はこれに含まない。
あんたらの一押しのツンデレキャラを教えて欲しい。

2ちゃんねる「ツンデレ派集まれ」スレッドより
(<http://vip.bbbspink.com/test/read.cgi/hgame/1040873352/> 現在は過去ログ倉庫)